

平成30年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。
ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.119

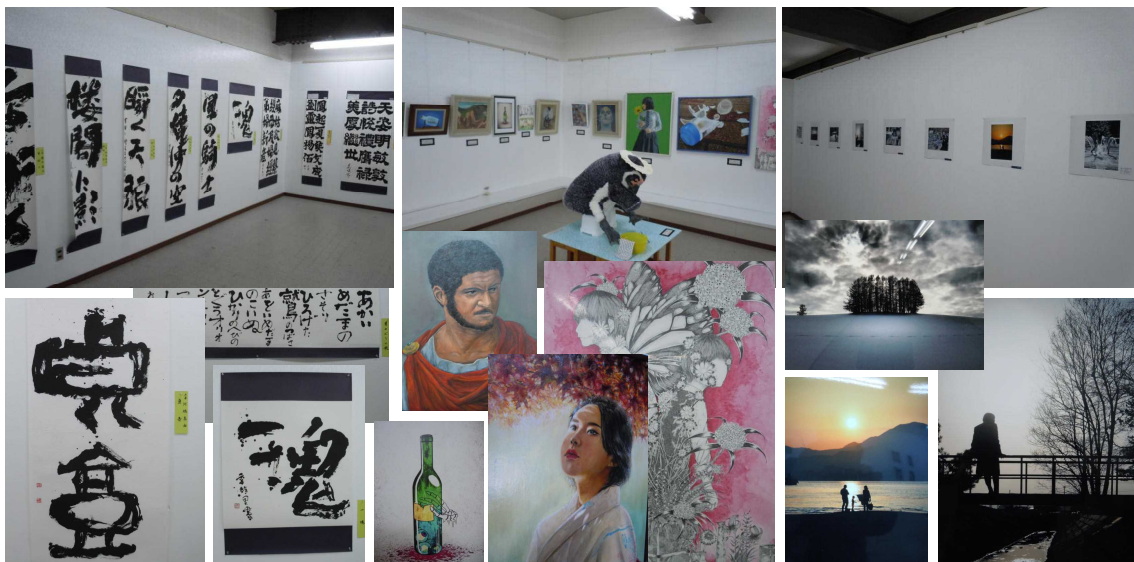
H30. 12. 1～15 「校外展」



写真部、書道部、美術部が共催している「校外展」が、ピカソ画廊さんのご協力のもと、2階展示室で開かれています。
(3条通り1丁目)

毎年力作が並ぶこの展覧会は、本当に見応えがあります。
また、どの部とも年々力を伸長しており、支部のみならず、全道でも輝かしい実績を収めてきました。

全道優秀賞受賞作品や全国大会出品作品を目の前で鑑賞することができます。1年次生から3年次生までの秀作がずらりと並ぶこの「校外展」で、一人でも多くの方に感動を味わっていただきたいと思います。



All for one, and one for all. No.120

H30. 12. 12 「PTA研修会」

P T A活動の充実及び親睦を図ることを目的に例年実施している「北海道高等学校P T A連合会旭川支部研修会」が、トーヨーホテルを会場に開催されました。

事務局である旭川商業高等学校P T Aの皆様のご尽力により、全国的に著名な「孝山会」の皆様を招いての三味線演奏会が実現しました。

親子三代による演奏活動が全国でも唯一とのことです。津軽三味線から繰り上げられる様々な音色は、時間の経つのも忘れるほど美しく鮮やかなものでした。

本校からも6名の役員の皆様足が運んでくださいました。有り難うございました。



H30.12.14 「旭川養護学校との交流事業」

今年度3回目となる両校の交流事業のテーマは、「音楽を通じた交流会」。本校からも生徒会、吹奏楽局、有志など、合わせて約80名近い生徒が参加し、旭川養護学校の皆さんと親交を深めました。



この事業は、同世代が交流を通して、敬い合い、理解し合うことで、豊かな人間関係の基盤を相互に育むことをねらいとしています。回を重ねるごとに参加希望者も増え、両校生徒にとって大変有意義な時間となっている。

ポピュラーな曲やクリスマスソングを多数用意し、演奏に合わせみんなで歌ったり、打楽器でリズムをとったりしながら楽しい時間を過ごしました。

H30.12.13 「英語力向上事業」

特に重点を置いている「グローバル教育」の一環として、道教委指定の「英語力向上事業第1回講演会」を、1, 2年次生を対象に実施しました。講師に、北海道地域限定通訳案内士、NPO北海道通訳案内士協会副理事長の 高島 のり 氏をお迎えし、グローバルコミュニケーションの重要性についてお話をいただきました。

外国人観光客の増加や外国人労働者受入に伴い、観光業界はもちろん、一般企業でも英語を中心とするコミュニケーション能力が求められる社会になったこと、商品の流通がグローバル化することにより英語活用能力が一層求められるようになったことなどについて、パワーポイントを併用しながら、わかりやすくご説明くださいました。



終盤では、数名の生徒をモデルに英語コミュニケーションで留意すべき点などを、実演を交えて教示くださいました。今後、生徒の英語に向かう姿勢が大きく変わりそうです。

*エイリョウ・アラカルト 「ダンス同好会」

20日のお昼休み、生徒ロビーでは「ウィンター・ステージ」と銘打ったダンス同好会の発表会が催されました。いつの間にやら部員数も増え、クオリティーも発足当時とは比べものにならないほど向上しています。



大勢の観客（ロビーは1階、2階と生徒の熱気で充満）を前に、日頃の成果を思う存分に発揮したメンバーの顔は達成感が満ち溢れています。

勉学は高校生にとって本分であり決して手を抜いてはなりません、同時に、今しかできないことに積極的にチャレンジすることも、また青春の特権です。切り替えを大事にしながら、経験を通して人間的に大きく成長してくれることを願っています。

H30. 12. 21 「開運餅つき」

今年最後の生徒会行事「開運餅つき」が、放課後、生徒会ホールで行われました。この行事は、受験勉強真っ只中の3年次生に少しでも元気になってもらい、最後の最後まで「餅のように粘り強く」頑張ってもらいたいという激励を思いを込めた催しです。

また、1・2次生に対しても、年度末の残された日々を有意義に過ごし、気持ちよく新年を迎えてもらいたいとの願いが込められています。

生徒会執行部とライフクリエイトクラブが中心となり、在校生に美味しいお汁粉やお雑煮を配られます。今年も数日を数えるばかりですが、一人一人が自分のやるべきことをしっかりとやり遂げ、清々しい気持ちで新年を迎えて欲しいものです。



H30. 12. 25 「クリスマスコンサート」

恒例行事となっている吹奏楽局による「クリスマスコンサート」が、お昼休みに生徒ロビーで行われました。この演奏会を楽しみにしている在校生も多く、1階から階段、そして2階に至るまで観衆でびっしりです。

サンタ姿で登場した局員がクリスマスソングをメドレーで演奏、つられるように観衆からは大きな声援！学校全体が明るく大いに元気づけられる一幕です。冬休み前の教育活動は今日が最終日、同時に全年次で講習がスタートします。（3年次は一足早いスタート）



このコンサートは、そうした気持ちの切替の起爆剤でもあります。特に今回はスペシャルとして、野球部の面々がコラボ、より楽しいミニコンサートになりました。

明日からも、各々が自己の進路目標実現に向けて着実に力をつけていかなければなりません。この冬休みを大きな飛躍のチャンスと位置づけて、新たな歳を迎えてくれることを期待します。



H30. 12. 26 「国際交流事業報告会」

全校集会に先駆けて行った国際交流事業報告会では、「対日理解推進交流プログラムJENESYS2018 韓国派遣研修」に参加した2年次生 谷村 礼菜さん、遊佐 七海さんのお二人と、「旭川市青少年相互交流事業」に参加した同じく2年次生 島尻 夏希さんが、現地での体験を紹介してくれました。

二組は、それぞれ韓国の水原市やロシアのユジノサハリンスク市などの気候、風土、文化などについて、パワーポイントを併用しながら詳しく説明してくれました。

これまでも多くの生徒が、海外留学生との文化交流会や、韓国・ロシアなどへの短期派遣事業に積極的に参加しています。また、英語の授業での「インターネットを介したニュージーランド校との交流」、英語力向上を目指した指定事業の「旭川駅・旭山動物園での外国観光客対象のガイド体験」なども実践しています。

これからの時代は「グローバル社会」。単に英語が話せるというのではなく、日本と異なる文化や風土を知ること、鋭い感性を磨くことが重要です。高校時代からこうした取組に慣れることは、視野を拓けるだけでなく、主体的に活動する原動力となります。



韓国を紹介する谷村さん・遊佐さん



ロシアを紹介する島尻さん

All for one, and one for all. No.127

*エイリョウ・アラカルト 「読書感想文」



今回が第1回目となる「校内読書感想文コンクール」の各部門入賞者が発表され、全校生徒を前に表彰式を行いました。

部門は、「読書感想文部門」（1年次生・2年次生）と「エッセー部門」（2年次生のみ）の二部門。

国語科教諭を中心とする選考委員により、入賞が発表され、栄えある第1回目の第1席には、厳正な選考の結果、次の3名が選ばれました。

- ◎ 1年次読書感想文部門 1年6組 大西 乃音 さん「友だち幻想」
- ◎ 2年次読書感想文部門 2年3組 佐藤 陽南 君「夏の庭」
- ◎ 2年次エッセー部門 2年3組 福田 大貴 君「『あこがれ』から『あこがれ』」